患者さんへ

「異なったバージョンを使用した頭部 PerfusionCT＊における結果と出力時間の比較」

*Perfusion-CT:灌流画像検査とも呼ばれ造影剤を血液と見立て、その流れ（血流）を CT 画像で表示する撮影法です。画像処理によって、左脳・右脳の血流・血液量・平均通過時間など脳梗塞を診断するための画像が作成されます。

この研究は、通常の診療で得られた記録を使って行われます。
このような研究では、国が定めた指針に基づき、
対象となる患者さんのお一人ずつから直接同意を得ることが困難な場合には、研究の目的を含む研究の実施についての情報を公開することが必要とされています。
なお、研究結果は学会等で発表されることがありますが、その際も個人を特定する情報は公表いたしません。

1 研究の対象	2023 年 7 月 1 日より 2023 年 7 月 31 日までに当院救急総合診療科で PerfusionCT を受けられた方
2 研究目的・方法	脳梗塞では、早急な虚血への対応が必須です。治療対象であるかの診断をする為には脳血管灌流画像検査である Perfusion CT を行う必要があります。 脳梗塞を診断するために画像の解析処理を行う「ワークステーション」のバージョンアップに伴い、作成画像の自動保存時間や計算精度の向上など多くの改善が期待されています。新旧バージョンの「ワークステーション」で同じ処理を行い、計算結果である脳梗塞の梗塞巣のデータを比較することによって今までと大きく結果が変わらない事を確認すること、 また、「ワークステーション」の計算時間と画像保存時間が早くなることを確認することを目的とします。これにより医師が検査結果を早く確認できるため、より早く治療介入できることが期待されます。 研究の期間：施設院長許可（2023 年 11 月予定）後～2024 年 3 月
3 情報の利用拒否	情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんのご家族等で患者さんの意思及び利益を代弁できる代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としません。その場合は、「5. お問い合わせ先」までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。 ただし、ご了承頂けない旨の意思表示があった時点で既にデータ解析が終わっている場合など、データから除けない場合もあり、ご希望に添えない場合もあります。
4 研究に用いる情報の種類	PerfusionCT に要した時間、Perfusion により算出された梗塞巣の値
5 お問い合わせ先	本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。 研究責任者、照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

	清水　利光　湘南鎌倉総合病院　放射線科 神奈川県鎌倉市岡本 1370-1　電話番号:0467-46-1717

2023 年 12 月 6 日作成(第 1.1 版)